



9月 園だより

名島保育園 園長 林田睦子
2020. 9. 1

つくつくぼうしが鳴き始め、朝晩は、随分涼しくなりました♪

実りの秋ですね。園庭のさつまいもの収穫が、楽しみです☆

夏で疲れた胃腸を休め、体調には、十分気を付けて過ごしましょう。

9月の行事

14日(月) 尿検査 配布

*年中・年長児対象

15日(火) 尿検査 回収

16日(水) 尿検査 回収予備日

21日(月) 敬老の日

22日(火) 秋分の日

23日(水) 歯科検診

*全園児対象



9月の一口メモ

【敬老の日】

聖徳太子が、貧しい人や、孤児の救済施設として四天王寺に非田院を建立したとされる日にち。昭和26年に「としよりの日」として設けられ、昭和38年に老人福祉法の制定で「老人の日」に改称。昭和41年から「敬老の日」になる。



【お月見】

9月15日頃。大陸方面から乾燥した空気が流れ込むため空が澄み、月が美しく見える季節。十五夜の月見は、中国の唐の時代に始まった。満月の晩に行うので年により異なる。



【秋分の日】

祖先を敬い、亡くなった人々を偲ぶための祝日。秋の彼岸の中日で、この日昼の長さがほぼ同じになり、以後だんだん昼が短くなる。

《お知らせ・お願い》

尿検査について《2Fクラス年中・年長児対象》

朝起きて最初の尿を採取し、その日の朝10時までに持ってきて下さい。

*尿検査は当日採取した尿しか検査が出来ません。

登園が遅れ業者の回収時間に間に合わない場合は、翌日再採取となります。

配布日 9月14日(月) 回収日 9月15日(火) 予備回収日9月16日(水)

体操教室参観・運動あそび参観について

体操教室参観 今月予定しておりました体操教室参観は延期と致します。

延期後の日程は決まり次第お伝えします。

運動あそび参観 10月16日(金) 千早グラウンド 10:00～

30日(金) 千早グラウンド 10:00～

- ・ラジオ体操
- ・さくらんぼリズム
- ・CDさん かけっこ
- ・Bさん かけっこ
- ・Aさん リレー・パラウエーブ

*天候・コロナウイルスの状況により、内容の変更・中止となる場合があります。ご了承下さい。

*お子さんは保育園から歩いてグラウンドへ向かいます。

9:00までの登園にご協力お願い致します。

*当日参観後、保育のお子さんは園へ、お子さんと一緒に帰られる方は現地解散となります。

保育園の駐車場は利用できませんので、徒歩か公共の交通機関で登園してください。

グラウンドの周辺に駐車をしますと、近隣の方にご迷惑をかけることとなり、今後グラウンド

の使用許可が下りなくなりますので、グラウンド周辺には絶対に駐車しないで下さい。

幸せを呼ぶ結婚(一人息子と一人娘の結婚) 結婚とは血を継ぐこと

ある日 S さんが、「明日は一人息子の結婚の結納で、夫と息子とともに日帰りで関西まで行ってきます」と言う。よく聞くと相手のお嬢さんは 100 年続く仕出し屋(料理屋)の跡継ぎとして育てられた一人娘さんでした。

息子さんは、前もって 1 人で挨拶に行き、仏壇に座り感謝し、お父様にお願いして、お墓にお参りしました。その姿にお父様は、この人なら娘を幸せにしてください方だと思い「娘をあげましょう」ということになったのでした。

そこで私は S さんに「一人娘さんを頂くのに日帰りは失礼でしょう。先祖のお心を伝え続けた老舗で、この『いのち』を継いで欲しい!との願いを込めて育てられた娘さんですよ。宿を取ってゆっくりとお目にかかり、心を込めて**御先祖と、生きた御先祖である御両親**に感謝し礼を尽くすのです」とお話しました。

次の日、挨拶に伺ってまず御先祖様にご挨拶したい旨を話し、お墓に案内して頂きました。事前に伺っていた息子さんが、古い家柄だからお墓が、25 基もあることを知っていたので、お花も 25 束用意しました。

3 人で丁寧に墓前に花を捧げ、挨拶して祈ったそうです。その姿をしっかりご覧になったお父様は「先祖が納得してくれました。娘を差し上げましょう」と言ってくださいました。この 3 人の見えない命に対する心をお父様はご覧になって、娘は幸せになると納得なさったのだと思います。

結婚は血を継ぐことです。両方が一人っ子同士なら尚のこと。亡くなった両方のご先祖に次の命を継ぐ元気な子を 2 人以上授けてくださいとお願いをする。またご両親にもそう挨拶をして、次の世代のこともしっかりとした覚悟をお伝えすること。大切な事は命の重みを忘れないこと。自分だけの幸せなどありえない。**命は先祖代々伝えられたもので、自分 1 人で大きくなったのではない。**

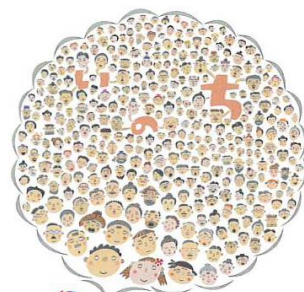
それはまず、**見えないご先祖に挨拶をする。墓前で礼を尽くし祈る。**このような事は急にできることではないし、日々の生活の中に積み上げられた心があったること。この我々のご先祖が歩いた道(お天道さま)を今は教えない。学校の勉強が大事で家事手伝いはしない。女性が理屈を知っても愛を忘れたら、次の時代は育たない。両親を見ない、家事はしない、まして日本の歴史も知らない。

結婚は物や財産を継ぐのじゃない。血を継ぎ命を継ぐ。この命の尊さを日本人は先祖代々伝えてきたことを、忘れてはいけないと思うのです。

毎日感謝し、自然の色と自然の心を大切に生き、後は、天まかせで良い。

大切な事は自分のことばかりでなく、**相手を思いやる、相手を大切に**する心が、1つの糸となつてつながっていくという事です。先の事はわからない。今を大切に生きる時、願いのようにならなくても必ず良き縁が回ってきて助けられます。頭では見えるものだけの世界で見えない命や心は消えてしまう。先祖など死んだら終わり、後は何もないと言う人も多くなりました。「生命の誕生」は、はっきりと血と血液は違う。血液は土に還るが**血は遺伝子となつて代々受け継がれる**。先祖は自分の血の中に生きていることをSさんも息子さんも、その通り実行した結果、全て良いことになり、早速、3人の赤ちゃんに恵まれ到底無理と思っていた事も、命の糸を心でつなげるとはこんな事と体が見事に教えてくれました。

『あなたと健康』東城百合子著より



「ぼくのご先祖さまって、1000人くらい？」
「もつともつと、いるさあ〜ね」
『いのちのまつり』より (作・草場一壽)
サンマーク出版

9月19日から25日の7日間は、お彼岸です。ご先祖さまへの感謝の気持ちをもって、お彼岸の期間には、家族みんなでお墓まいりに行き、大切に守っていききたいものです。